



この人 百話 一芸

ひやくわ
いちげい

巧みな話術と古典芸能についての幅広い知識で知られる葛西聖司さんが、様々な方々をゲストに迎えて送る講座「この人百話一芸」。前半は、その人が歩んで来た道をたっぷりと聞き、後半は取って置きの芸を披露してもらった後芸を中心に語ってもらいます。「百話」と「一芸」で、その「人」を浮かび上がらせようという企画です。

【第18回】平成24年10月20日(土)

午後2時開演(午後1時開場)

出演者

加藤武(俳優)

舞台に映画に活躍する演劇界の重鎮・加藤武さんを迎える「加藤武 俳優一代記」のテーマで、半世紀以上ともに歩んできた文学座の歴史や舞台にまつわる話をお聞きします。取って置きの芸では、小唄「高時」などを披露していただきます。

【第19回】平成24年12月15日(土)

午後2時開演(午後1時開場)

出演者

常磐津英寿(常磐津三味線)

常磐津三味線の人間国宝・常磐津英寿さんをお迎えします。座右の銘でもある「古き礎の上に新しきぞ建つ」をテーマに、病気を克服し演奏家・作曲家として活躍する英寿さんのお話を伺います。

聞き手

葛西聖司(アナウンサー・古典芸能解説者)

チケット料金

単独券 全席指定 3,000円

セット券(第18回・第19回) 全席指定 4,000円

チケット発売

第18回・第19回とともに

平成24年7月15日(日)正午から(初日は電話・WEBのみ)

※電話予約開始日に売り切れた場合、窓口での販売はありません。

※セット券は電話または窓口でのみ販売します。

お申込み・お問合せ／横浜能楽堂

〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘27-2

Tel: 045-263-3055

<http://www.ynt.yaf.or.jp>

主催／横浜能楽堂(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

この人百話一芸

【第18回】

加藤武



1929年、東京都生まれ。両親が清元節を愛好していたことから、本人は幼少より歌舞伎をいとおしみ、文楽など「古典芸能」に造詣が深い。早稲田大学在学中に演劇研究会に入り、今村昌平、北村和夫と出会う。52年に文学座に舞台技術研究生として入所、59年に文学座の座員となる。劇団を代表する舞台に出演する一方、テレビ・映画などでも活躍。「悪い奴ほどよく眠る」など黒澤明監督作品に数多く出演。現在、文学座劇団代表であり、俳優として地方公演に出演するなど精力的に活動している。

【第19回】

常磐津英寿



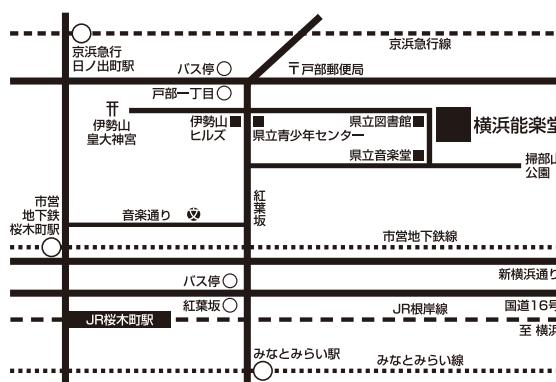
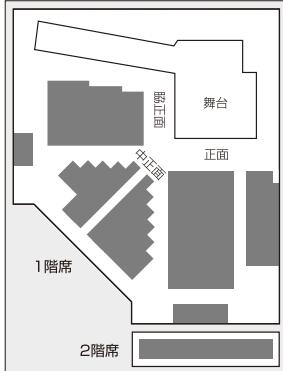
1927年、東京都生まれ。三世常磐津文字兵衛の子として生まれ、常磐津節を叔父。八百八より修得する。56年に作曲活動を始め、演奏家としてまた作曲家として活躍。数々の病気を克服し、現在に至るまで300曲を超える作品を作曲。伝統ある古典芸能を継承するとともに、現代に生きる「新しい常磐津節」の追求に情熱をかたむける。92年重要無形文化財各個指定保持者（人間国宝）となる。78年、79年、81年、83年芸術祭賞、84年モービル音楽賞受賞。89年紫綬褒章、97年勲三等瑞宝章受章。93年恩賜賞・日本芸術院賞受賞、94年日本芸術院会員就任、11年日本芸術院会員第三部部長就任。

聞き手

葛西聖司



1951年、東京都生まれ。中央大学法学部卒業。NHKエグゼクティブアナウンサーとしてテレビ、ラジオのさまざまな番組を担当してきた。現在はその経験を生かし、朗読教室や執筆活動も続けている。著書に「文楽のツボ」「名セリフの力」「ことばの切っ先」などがある。



交通のご案内

◆電車利用

- JR根岸線・市営地下鉄線「桜木町」駅下車徒歩15分
- みなとみらい線「みなとみらい」駅下車徒歩20分
- 京浜急行「日ノ出町」駅下車徒歩18分（タクシー利用は各駅とも約5分）

◆バス利用

- 戸部1丁目（市営バス103系統）下車徒歩5分
- 紅葉坂（市営バス8, 26, 58, 89, 101, 105, 106系統／神奈中バス横43, 横44, 港61系統／江ノ電バス大船駅、木場駅、京急バス110系統）下車徒歩10分

* 駐車場はございませんので、ご来場の際には電車・バスをご利用下さい。

* 内容・出演者に変更がある場合がございます。あらかじめご了承下さい。

* 会場への飲食物の持ち込みはご遠慮下さい。

横浜能楽堂

〒220-0044横浜市西区紅葉ヶ丘27-2
tel:045-263-3055
<http://www.ynt.yaf.or.jp>